

平成29年度 学校自己評価システムシート（県立岩槻高等学校）

目指す学校像	確かな学力・規律ある生活態度・国際感覚を身につけた生徒を育成し、一人一人の進路希望を実現する、地域に愛される学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 一人一人を生かす学びの定着（学力の向上を目指して） 進路指導の充実（夢の実現を目指して） 生徒指導の充実と人権教育の推進（豊かな心の育成を目指して） 国際理解教育の推進（国際社会で活躍する生徒の育成を目指して） 保護者・地域との連携（信頼される学校を目指して）
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】朝学習が定着し、個に合わせた丁寧な授業がなされ、明るい雰囲気の中で生徒は落ち着いて授業に取り組んでいる。</p> <p>【課題】家庭学習の習慣化及び、自発的な学習姿勢が不十分である。</p>	<p>・毎日の学習活動を大切に、生徒の学習習慣を確立するとともに教師の指導力を向上させる</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①スタディサポートや学習リサーチの結果を活用し個別指導を行う。 ②朝学習、週末課題に自発的に取り組む意識を醸成する。 ③一般公開授業を実施する。 ④教師の授業力向上のために授業アンケートを実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①成績不振を前年比5%減少、成績優良生徒を前年比5%増加させる。 ②全学年が朝学習を実施するとともに、学習内容の焦点化と事後指導に取り組む。(毎日) ③授業公開を年間2回実施する。 ④生徒の意見を授業内容に反映するために、全教科で授業アンケートを実施する。(毎学期) 			
2	<p>【現状】キャリア教育を意識した指導がおこなわれている。進路意識が向上している。</p> <p>【課題】進路選択目標を高く持たせ、より難易度の高い大学等に挑戦する姿勢を育てる。各大学の進路指導体制についての情報収集への意識を高める。</p>	<p>・キャリア教育の視点に立った進路指導を行い、生徒が最後まで積極的に困難にチャレンジする意欲を育成する</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①職業・学部学科について、各学年に応じて調べ学習を行うとともに、各自が進路情報収集を行う。 ②講演会、模擬授業等を実施し進路意識の向上を図る。また、面談を通して進路目標を明確にさせ、難関大へのチャレンジを促す。 ③必要な学習準備内容を把握させ、早い時期から計画的な進路指導の取組を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した進路行事を適切な時期・内容で実施する。 ②進路意識の向上を図るとともに面談等を効果的に実施し、3年生の進路決定100%を実現する。 ③進学講習への参加者、学習道場(自習室)参加者、模擬試験受験者、セタ試験受験者を増加させる。(昨年度比) 			
3	<p>【現状】全学年統一した指導が図られ、遅刻・欠席者は少なく、身だしなみ、交通マナーも概ね落ち着いた。</p> <p>【課題】家庭・関係諸機関との連携を深め多様な生徒に関係分掌・学年等が連携して対応できる体制を強化することが必要である。</p>	<p>・多角的な教育活動を通し、規範意識を身に付けさせるとともに、自ら品格ある言動がとれるようにする</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①全教職員が共通認識のもと 制服の正しい着用と品格のある身だしなみを身につけさせる。 ②遅刻指導を継続して行い、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ③毎日登下校校指導を行うとともに、カギド・スレイ技法による安全教室を実施して交通事故を防止する。 ④悩みを抱えた生徒に対し、スクールカウンセラー及び職員間で定期的に情報共有し、継続的な指導を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①全学年共通した指導基準で整容指導を実施する。(毎学期) ②遅刻者数、欠席者数を昨年度より減少させる。 ③交通事故件数を昨年度より減少させる。 ④毎月教育相談委員会を開催し、転退学者を昨年度より減少させる。 			
4	<p>【現状】海外授業体験に対し学校全体での取組ができ、個人の外国文化への意欲向上が見られる。</p> <p>【課題】国際文化科内に留まらず学年単位、さらには全校での取組に高め、共通理解のもと本校の国際理解教育を外部へ発信していく必要がある。</p>	<p>・国際理解教育を通して、本校全体に異文化理解を普遍化するとともに他校との連携を深める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①国際文化科の学科行事であるイグリッシャマキア、異文化理解戦、歌舞伎講座などを実施する。 ②海外授業体験や海外からの留学生を受け入れる。 ③校内レ・コンテストを実施する。 ④異校種間の連携を積極的に行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①国際文化科と国際交流部で国際理解教育の連携を図るとともに、講演を含めた各行事の内容を更に充実させる。 ②国際理解教育の取組成果の発信や留学生の受け入れを行う。 ③コンテストを計画的に実施する。 ④大学等と連携を行う。(年度内) 			
5	<p>【現状】昨年度導入した緊急メール配信は保護者等への即時対応に効果があった。地元フェスタへのボランティア参加も評価が高い。</p> <p>【課題】緊急メールの普及が不十分だった。さらなる学校外への情報発信、地域との連携を通して、期待により一層広げていく必要がある。</p>	<p>・本校教育活動の多角的情報発信を通し、保護者や地域住民の理解を深め、地域に愛される高校としての評価を高める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①HPをタイムリーに更新するとともに緊急メールを普及させる。 ②生徒が地域の行事、小高交流事業等に参加し、ボランティア活動を推進する。 ③PTA活動をより活性化し連携を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①HPアップ数を昨年度比10%以上増加する。緊急メール登録者数を昨年度より増加させる。 ②昨年に比べ参加者数を増加させる。 ③保護者会やPTA活動等の行事参加者数を増加させる。 			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	